



地下街探検



第五回

「OOTEMORI」

ただいま続々と大型オフィスビルが建て替え中の大手町。昨年春に本竣工した大手町タワーの地下に位置するのが、オフィス街の新たなにぎわいの場となっているOOTEMORIだ。

以前、この大手町タワーの場所には旧富士銀行本店ビルと大手町フィナンシャルセンタービルが建っていた。再開発された大手町タワーは地上三十八階・地下六階建て。みずほフィナンシャルグループなどのほか、世界的なラグジュアリーホテル・アマン東京も入居している。

ビルの敷地は、大手町駅を通る地下鉄五線の駅に囲まれる絶好の立地。OOTEMORIの中心に位置する広場は、地上階まで吹き抜けで外光が差し込む。光があふれ、魅力的な店舗がひしめいている空間に、地下道を行き来する人々は次々と引き込まれてくる。

OOTEMORIのターゲットは、ずばりこの大手町で働くキャリアウーマン。大企業の専門職や外資系金融で働く女性が多く、ライフスタイルが豊かで感性が高い彼女たちの眼

鏡にかなう店舗を揃えた。

昼時、行列ができてきているのは韓国家庭料理、生パスタ、野菜が食べられるカレーなどの店。店内にはやはり女性客が多い。一方、一口餃子の店は男性客を集めている。

以前は富士銀通路と呼ばれていた、東西線の大手町駅から、丸ノ内線・半蔵門線大手町駅に至る地下道沿いには、フラワーショップ、オーガニックコスメ、スイーツなどの店舗が並び、おしゃやれで楽しい雰囲気。この一画の店舗構成は、駅ナカ商業施設を意識したということ。そう言えば今までの地下鉄巨大駅・大手町駅には、本格的「駅ナカ」がなかった。建て替えが進み、地上でも変貌しつつある大手町の地下で最先端の商業施設となっているのが、この地下街のようだ。

地下街コラム

OOTEMORIのある大手町タワー敷地内に、自然林と見紛うような「大手町の森」がある。ビルの竣工三年以上前から、千葉原君津のグリーンセンターで一部を生育し、土壌改良などを重ねたうえで大手町に移植。都心のヒートアイランド現象を緩和する役目も担っている。「森」は、地下にあるOOTEMORIからも吹き抜けを通して見え、憩いの空間を作り出している。

